



日本教育大学協会部門代表者会議のご報告と 日本教育大学協会研究集会 「へき地・小規模校教育分科会」新設のお知らせ

へき地・小規模校教育研究センター長
玉井 康之

1. 日本教育大学協会部門代表者会議の開催と期待

(1) へき地・小規模校教育部門の設立の報告

去る1月25日に東京学芸大学で、日本教育大学協会部門代表者会議が開催され、へき地・小規模校教育部門を代表して参加しました。この会議で各部門の活動状況が紹介されました。

へき地・小規模校教育部門の報告では、1) 2018年10月に発足し、全国の教育学部の中で31大学76名が部門会員として入会して頂いていること、2) 2018年11月18日に第1回会議を釧路市生涯学習センターで開催し、17大学26名が集まったこと、3) 第1回交流活動は、11月17日の北海道教育大学へき地・小規模校教育推進フォーラムに合わせて開催されたこと、4) 今後教大協の全国研究集会に併せて部門を開催していくこと、5) 事務的予算は当面北海道教育大学で担うこと、6) 部門事務局は、当面本学へき地・小規模校教育研究センター内に置くこと、7) 部門運営委員は本学の同センター運営委員が兼ねて行うこと、等の活動内容を紹介しました。

(2) へき地・小規模校教育部門設立趣旨の説明

この部門設立趣旨としては、全国の都道府県の教育委員会からも少子化・小規模校化の中で、これに対応する課題や実践的指導が求められており、それに関する全国の大学教育学部に対して極めて強い研究・実践指導に関する期待が生じていることです。このため全国の教育学部の関係者がネットワークを作り、へき地・小規模校教育に関する情報交換を進めていく必要があることとお話ししました。各大学の先生からもすでに各地方の教育委員会や学校から、へき地・小規模校教育に関して大学に指導をお願いしたいという要請が出ているという話が寄せられています。

今後も少子化・小規模校化は全国的に進むために、これに対する少人数学習指導や学級経営や地域連携教育など、へき地・小規模校教育の発展の課題を捉える必要があります。またそれをへき地・小規模校の教育としてだけでなく、全国的な新しい教育活動の課題として捉えていく必要があります。

2. 日本教育大学研究集会「へき地・小規模校教育分科会」開設と発表のお願い

(1) 日本教育大学研究集会「へき地・小規模校教育分科会」の開設の承認

日本教育大学協会各部門は、教科と校種の部門がほとんどであるため、関連学会に合わせて開催するものがほとんどのようです。ただ「へき地・小規模校教育」は新しい研究教育分野であるために、関連する学会はありません。

そのために日本教育大学協会には、全国の研究集会で、「へき地・小規模校教育分科会」を開設して頂くようお願いしておりました。このようにすると全国研究集会に合わせて部門研究会を開催することができます。この点について、日本教育大学協会の理事会および次期開催校の岡山大学で検討して頂きました。

その結果、2019年2月8日の教大協全国理事会において、「へき地・小規模校教育分科会」が承認され、次回の岡山大学の研究集会（10/5）の発表公募に「へき地・小規模校教育分科会」が明記されることになりました。すなわち最初の公募の段階から「へき地・小規模校教育分科会」があり、その発表募集が行われるということです。

(2) 岡山大学研究集会での「へき地・小規模校教育分科会」の発表のお願い

2019年10月5日に、岡山大学で教大協研究集会が開催されます。ここでの研究発表は、発表募集の段階から「へき地・小規模校教育分科会」での発表がなされることとなります。

そのため皆様方には、関連内容について理論・実践を含めて積極的にご発表頂ければ幸いです。公募は例年4月以降に行われていますので、今からでもご発表の準備を意識して頂ければ幸いです。よろしくお願い致します。

3. へき地・小規模校教育研究推進フォーラム

すでにご案内したように、3月7日に、へき地・小規模校教育推進フォーラムが、札幌校事務局3階で開催されます（P4 チラシ参照）。こちらにも奮ってご参加願います。ご参加を希望される方は、学務部地域連携推進室まで連絡願います。

学務部 地域連携推進室 crc@j.hokkyodai.ac.jp

4. IR部門のデータから見たへき地校体験実習との関連性

へき地・小規模校教育研究センターから、IR部門にへき地校体験実習に参加している学生の特性を他の実習への参加の観点から相関をとって頂きました。このデータは、札幌校・旭川校・釧路校の3キャンパスのデータです。

図の1～3において、それぞれ次の関連性が出ています。

図1

入試別にへき地校体験実習に参加した学生の状況では、地域指定推薦入試・一般推薦入試・後期入試・前期入試の順番に参加した学生が多くなっている。

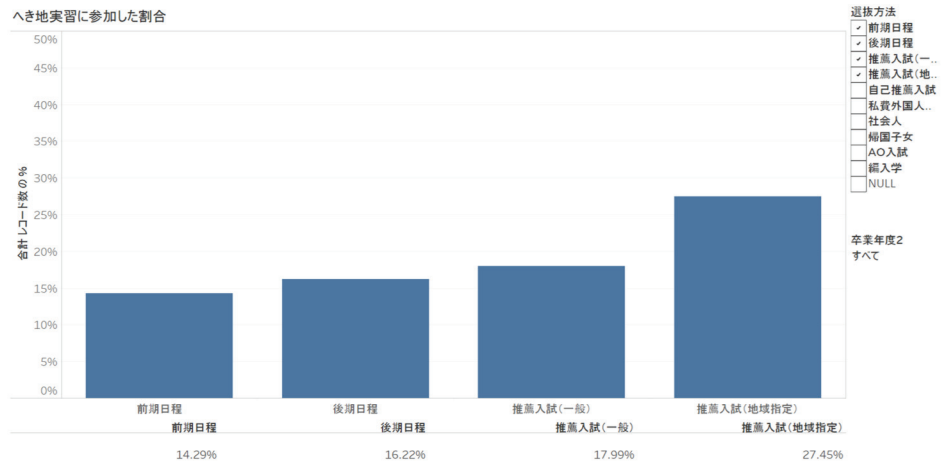


図2

旭川校では、へき地校体験実習に参加した学生は、小中の副免教育実習にも参加した学生が多い。また、釧路校でも同じく、へき地校体験実習に参加した学生は、副免教育実習に参加した学生が多い。

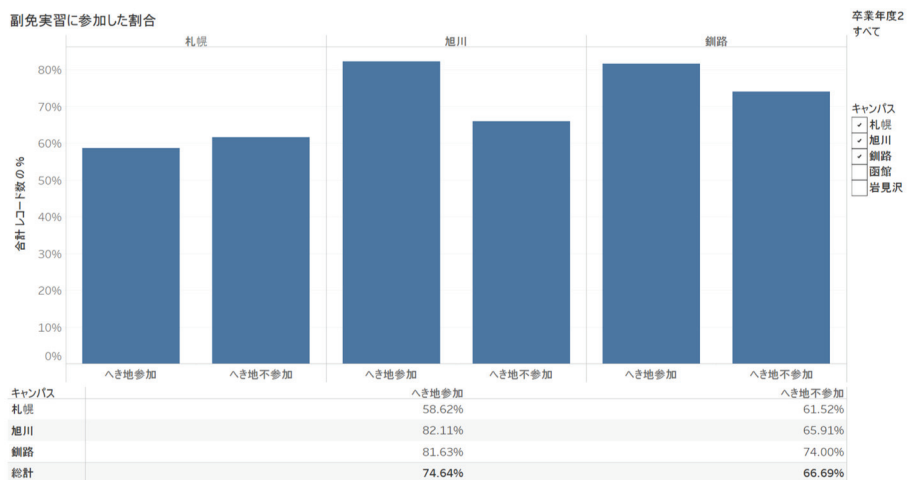
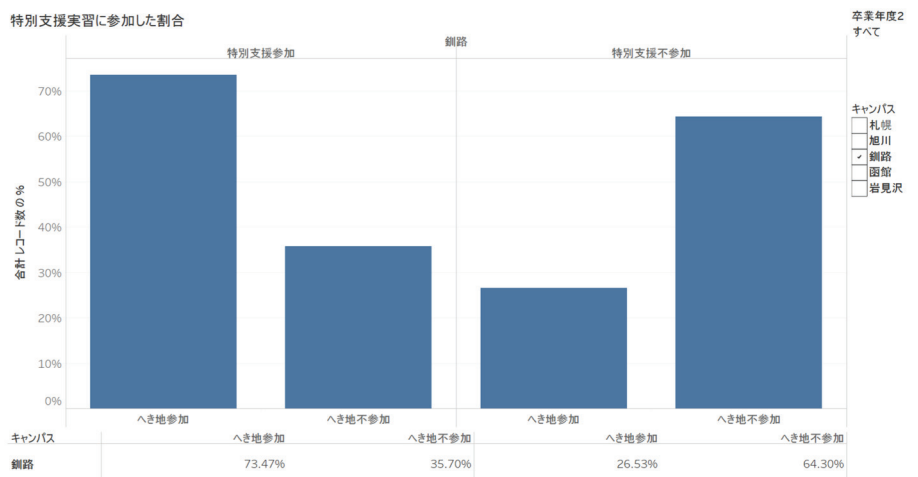


図3

特別支援教育実習との関連性では、へき地校体験実習に参加した学生は、特別支援教育実習にも参加している学生が多い。このデータは、釧路校のみのデータのため、他キャンパスのデータ分析はこれからの課題です。



へき地・小規模校教育の発展と 教師を育てる教員養成大学の役割

日時 平成31年 **3月7日**(木) 13:00~17:00

会場 北海道教育大学
事務局3階第1会議室
札幌市北区あいの里5条3丁目1-3

フォーラム **参加無料**

事前に crc@j.hokkyodai.ac.jp までお申込ください。
当日直接来場も可能です。

へき地・小規模校は、その特性を活かしながら新しい教育課程として、カリキュラムマネジメント、コミュニティスクール、地域素材の教材化、少人数指導、主体的対話的で深い学びなど、へき地・小規模校の積極面を活かした教育活動を創り出していく必要があります。この新しい教育課程の構築に向けて、へき地・小規模校はどのようにあるべきか、そのための教員養成大学はどのようにあるべきかについてその可能性を探っていきます。

Program

13:00 総合司会 北海道教育大学 旭川校 教授 坂井 誠亮
開会挨拶 北海道教育大学長 蛇穴 治夫

13:20

I. 基調講演 「へき地・小規模校教育の発展とその取り組み」

講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 上野 耕史氏
司会 北海道教育大学 旭川校 教授 坂井 誠亮

14:35

II. 北海道教育大学へき地校体験実習の成果と教職意欲に与える影響

報告者 北海道教育大学 学生(札幌校・旭川校・釧路校)
講評 北海道立教育研究所企画・研修部 研究研修主事 石田 亨氏
司会 北海道教育大学 函館校 准教授 阿部 二郎

16:00

III. 基調提案 「北海道のへき地の若手教師をいかに育てるか - 北海道教育大学に期待するもの」

提案者 北海道立教育研究所 企画・研修部長 中澤 美明氏
司会 北海道教育大学 釧路校 教授 境 智洋

16:45 閉会挨拶 北海道教育大学副学長/へき地・小規模校教育研究センター長 玉井 康之

フォーラム終了後 交流会 (参加費必要。交流会参加希望の方は、地域連携推進室 crc@j.hokkyodai.ac.jp へご連絡ください。)

お問い合わせ(事務局)

北海道教育大学学務部地域連携推進室(中戸川,堀北)
〒002-8501 北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1-3
Tel:011-778-0890 E-mail:crc@j.hokkyodai.ac.jp

北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター
〒085-8580 北海道釧路市城山1丁目15-55
Tel:0154-44-3291